

北見武道通信

令和7年5月1日 00741号

編集者:佐藤寿春

北見市幸町8丁目4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-22-2212 Fax:0157-23-0581

URL <http://www.kitamibudokan.org/>

satou.tosiharu@navy.plala.or.jp

ニュースレター【事務局情報】

短編小説「手帳」

あの人は、いつもあそこにいる。

こちらから話しかけることはしないが、いつも同じところに座っているので、なんとなく気にかかっている。

今日は、いつもの手帳を持ってきていないようだ。あの人はその手帳にいつも何かを書き込んでいる。

すると、あの人は鞆の中から例の手帳を取り出した。やはり、今日も持ってきていたらしい。

手帳を開く。何事かがこと細かに書き連ねてある。そしてその人は、真剣な表情でその手帳に続きを書き足すのだ。

そうしている間、あの人は手帳しか見ていない。

背を少しかがめて、一生

懸命に書いてゆく。そうしてやや時間をおいてそれを書き終わったあとは、満足そうな、満ち足りた表情を見せるのが常だった。

何を書いているのかは、私にはさっぱり分からなかった。あの人を見る時、こちらとあちらには距離があったし、そうでなくてもあの人の書く文字は、ひどく小さかったから。

そんなあの人を見ているうちに、私も何か手帳を買おうかという気になった。

店へ行く。どの品物も、新たな持主の手許に行くのを心待ちにしているかのようだ。

私は手帳を探した。

無意識に、あの人の持っていた手帳に似た色と

大きさのものを選んでいたら、気付いた時、私は自分で自分に苦笑した。

〈ゆいか〉

事務所の花シリーズ「赤のエンゴサク」

通販で入手して今年は今時赤色の花が咲き可愛い姿を見せてくれます。〈渋谷〉

速報 6月14日(土)第29回北見市総合武道祭開催決定!



連載「武道宝鑑」第1弾 野間清治 <武道の徳><武道の徳>11-③

全身それぞれが最善をいたさなければならない。しかし、それ許りでは尚未だ立派な太刀にはならない。右手左手がよく調和しなければならぬ。右足左足がよく調和しなければならぬ。手だけ自由になっても、足がお留守になってはいかず、手足だけととのえても、腰が崩れてはいけぬ。結局、一部は一部として完成し、全部全身がわが心のままに、渾然として最善をつくすと同時に、悉くが一致協力、初めて立派な太刀となるのである。心で思う、手足で行う、その間髪を容れず、全く一になってこそ、そこに神妙の剣も生まれるわけである。これ渾然一体の和の力、即ち瞬息、心気力の一致によるものである。『一部と全部』の理法常にはなる哉と感嘆するのである。

各種の運動も、競技も、体操も舞踊も、斯の如き境地に達する為に、夫々役立つ、支那語では修行の事を『練工夫』というようであるが、斯の境地を目指して格技各芸一心不乱に練磨し工夫すべきである。私は、その中でも剣道がその効果最も著しきものと認めるのである。・・・つづく

